

## 平成 29 年度森林吸収源インベントリ情報整備事業 全体説明会

開催日時:2017 年 5 月 16 日(火)13:30 ～ 16:00

場所:森林総合研究所 大会議室

北海道支所、東北支所、関西支所、四国支所、九州支所(TV 会議)

参加者(森林総研):平井、石塚、稲富、古澤、相澤、田中、小林、山下、橋本(徹)、伊藤(江)、野口、岡本、酒井(寿)、志知、酒井(佳)、稲垣(昌)

参加者(受託者):杉浦・奥井・川尻・岡本・中島[(株)セ・プラン]、南・今野・中川[環境コンサルタント(株)網走支店]、原田・成田[個人事業主]、藏重・高野[(株)宮城環境保全研究所]、江田・池田[ソシオエンジニアリング(株)]、馬場・出田[東京パワーテクノロジー(株)]、田中・北井[(株)一成]、内田・中園・中川・上塚・山本・日高[(株)九州自然環境研究所]、瀬戸坂・野森・佐藤・権・根岸・高谷・藤田[クリタ分析センター(株)]

参加者(林野庁森林整備部森林利用課):高麗、松本

### スケジュール

13:30 開会

13:30～ 講義

I 1 年目成果の概要

II 野外調査方法確認

III 野外調査データ入力フォームについて

IV 試料の調整と分析

V データの品質管理と成果の提出

VI 聞き取り調査結果について

15:40～ 全体質疑

16:00 閉会

### 概要

試料収集分析業務に関わる業者を対象に、調査方法、データ提出方法等、今年度のインベントリ事業の進め方を説明した。林野庁高麗専門官の挨拶の後、議題に沿って各項目の解説と質疑応答をおこなった。精度の高い調査を行うために野外調査、データ入力、試料調整・分析、データの品質管理と提出について具体的に説明した。とくに調査方法とデータ入力方法については、昨年度のチェック結果や要望を反映して改良した部分や注意すべき点を重点的に説明した。また、調査をより良く理解してもらうために、1年目の成果の概要と、1年目の調査後に各業者への聞き取り調査で受けた要望とその対応について説明した。質疑応答では、野帳記入方法、電子データの入力方法、悪天候時の対応等、1年目の経験を踏まえての具体的な質問が多く出され、それに対

する対処法等を回答した。質疑により問題点を解決し、調査進行上の不安点を解消することができ、講習会の成果を上げることができた。

#### 記録写真

